

### シルクが紫外線をカット

近年、オゾンホールなどの影響で、紫外線の問題が大きく取り上げられています。波長300ナノメートル以下という紫外線は、長く浴びていると人体に重大な影響を及ぼします。シミ、そばかすはいかに及ばず、がんを発生させる引き金にもなりかねません。

日本人をはじめとする黄色人種は、比較的紫外線の影響を受けにくいのですが、それでも紫外線量の増加する五月あたりは要注意です。

ところが、シルクはこの紫外線を吸収する働きがあるのです。

もともとシルクはカイコの繭です。カイコは成虫に変態する際さなぎとなって動かなくなるため、外界から身を守るための繭として繭をつくりま

当然、有害な紫外線や、雑菌から身を守らなければならないのです。そのことから、シルクが紫外線対策にうってつけであることがわかるでしょう。

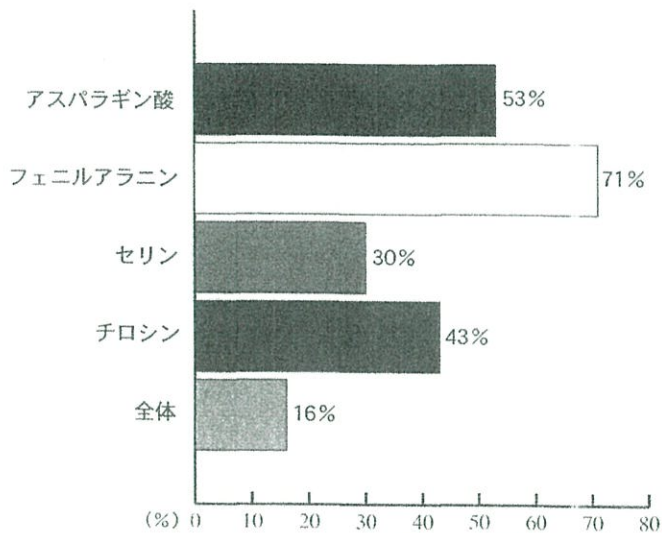
砂漠などで暮らすベドウィンと呼ばれる民は、シルクの衣服で身を守ります。彼らも経験的に、シルクが紫外線から身を守ってくれるのを古くから知っていたのです。

また、たんに衣服さえ着ていれば紫外線から身を守れるというのは間違いです。

紫外線の透過力は大変大きく、

絹フィブロインを構成するアミノ酸の紫外線照射による減少率

※紫外線を吸収したアミノ酸は分解して消滅、減少する。



〔日蚕雑 39(4)283 桑原ら より作成〕